

会議録

会議録	平成26年度 第2回豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 基幹バスのダイヤ改正について</p> <ul style="list-style-type: none">◆稲武・足助線 <p>(参考) 名鉄バスのダイヤ改正について</p> <ul style="list-style-type: none">◆矢並線 <p>(2) 基幹バスの路線廃止について</p> <ul style="list-style-type: none">◆上郷・若林線 <p>(3) 地域バスのバス停新設・移設等について</p> <ul style="list-style-type: none">◆下山地域バス◆高岡ふれあいバス◆小原地域バス <p>(4) 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について</p> <ul style="list-style-type: none">◆平成26年度 生活交通ネットワーク計画に基づく事業 <p>【報告案件】</p> <p>(1) 基幹バス車両の追加について</p> <ul style="list-style-type: none">◆豊田東環状線 燃料電池バスの運行開始日について <p>(2) 地域バスの無料日設定について</p> <ul style="list-style-type: none">◆藤岡地域バス <p>(3) 平成26年度バスの利用状況について</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 豊田市公共交通基本計画策定の進捗状況について(2) 次回、会議の開催予定について <p>5 閉 会</p>
日 時	平成26年12月24日(水) 13:30~15:00
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

<p>出席者 (敬称略)</p>	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 小河原 恵吾 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：後藤) 古橋 昭 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理：磯谷) 山田 篤司 (愛知県豊田加茂建設事務所) 伊藤 豊明 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所) 三浦 昇 (愛知県警察 豊田警察署) (代理：緒方) 高木 幹雄 (愛知県警察 足助警察署) 近藤 直人 (豊田市都市整備部) 須賀 進 (豊田市区長会) 鈴木 重郎 (豊田市老人クラブ連合会) 澤田 恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会) 岩月 俊樹 (豊田市PTA連絡協議会) 土居 友二 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 大久保 彰 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：田村) 今川 孝英 (名古屋鉄道株式会社) (代理：平井) 加藤 直樹 (名鉄バス株式会社) (代理：加藤) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
<p>資 料</p>	<p>1. 次第・配席図 2. 資料1～7：豊田市公共交通会議 平成26年度第2回会議資料</p>

(要約)

3 議事

【協議案件】

(1) 基幹バスのダイヤ改正について

◆稲武・足助線

(参考) 名鉄バスのダイヤ改正について

◆矢並線

- 事務局 資料1に基づき説明。
意見等なし。

(2) 基幹バスの路線廃止について

◆上郷・若林線

- 事務局 資料2に基づき説明。
- 委員 廃止後、日あたり20人弱いる利用者のフォローをどのように考えているか。
- 事務局 一日あたり20人弱の利用で、1便あたりにすると2人を切っている状況である。利用が伸びなかった理由としては学生利用や周辺病院利用者、工場等の従業員利用がなかったことによる。よって本市として路線継続はできないと判断した。代替案としては今年1月から運行開始している上郷地域バスと高岡ふれあいバスを考えている。上郷地域バスの改編を含めて検討し体制を整えていきたいと考えている。
- 委員 影響を受ける人がいるため、周知をしっかりとしてほしい。
- 委員 補足となるが、乗合バス路線の休廃止については、届け出の前に県主催のバス対策協議会へ諮ることとされているが、地域公共交通会議で審議されたものについてはその規程から外れることを申し添える。

(3) 地域バスのバス停新設・移設等について

◆下山地域バス

- 事務局 資料3に基づき説明(下山支所)。
- 委員 バス停移設について、移設ではなくて新設ではいけなかったのか。また民地に新設とのことだが、承諾を得られているかどうか確認したい。
- 事務局 移設前のバス停での利用が全くなく地域で協議した結果、移設が妥当となった。民地での承諾については、事前に調整をしておき、今後、承諾書を結ぶ予定である。

◆高岡ふれあいバス

- 事務局 資料3に基づき説明(高岡支所)。
- 委員 乗降と運行の安全には十分に配慮しているということで良いか。
- 事務局 安全には十分に配慮している。

◆小原地域バス

- 事務局 資料3に基づき説明(小原支所)。
- 委員 新設6基のバス停については、それだけの利用見込みがあるという事で良いか。
- 事務局 地域と連携をとりながら運行協議を行う中で、目に見える利用者からの要望により新設

するため、利用される見込みである。

(4) 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について

◆平成26年度 生活交通ネットワーク計画に基づく事業

- 事務局 資料4に基づき説明。
- 委員 目標値を維持していくために具体的に今後どのような取組みを考えているか。
- 事務局 藤岡地域バスの利用状況を分析すると、女子学生の利用が多かった。今年度は女子学生の利用が減ったため数字が落ち込んだが、今後利用実態に則したPRを実施していく予定。
- 委員 フィーダー系統は幹線系統への乗り継ぎが重要である。資料27ページの取組み実績の中に、稲武地域バスについては乗り継ぎに関する言及がない。
- 事務局 ご意見反映の上、提出する。

【報告案件】

(1) 基幹バス車両の追加について

◆豊田東環状線 燃料電池バス運行開始日について

- 事務局 資料5に基づき説明。
- 委員 トヨタ自動車からの貸与との事だが、所有者はどうなるのか。市で保有はできないか。
- 事務局 所有者はトヨタ自動車、使用者が名鉄バスという形である。まだ市販されていないので市で購入することはできない。
- 委員 一日どれだけの運行になるのか。その便の周知はどのように行うか。
- 事務局 一日3往復を想定している。便については「みちなびとよた」のサイトで公開していく予定でいる。
- 委員 車幅や重量の変更はないか。
- 事務局 6月の公共交通会議で車両最大値の変更を案件として出しており、その時点からの変更はない。

(2) 地域バスの無料日設定について

◆藤岡地域バス

- 事務局 資料6に基づき説明(藤岡支所)。
- 委員 8月の実施が適切だったのか。
- 事務局 通学者が夏休みで利用が落ち込むことと、家族のイベント等への参加での利用を狙い8月と設定した。時期等については今後も地域で協議を重ねていく予定でいる。

(3) 平成26年度バスの利用状況について

- 事務局 資料7に基づき説明。
- 委員 旭地域バスの4月に利用者数がとても多いが、どういった理由からか。
- 事務局 しだれ桃を見に来る観光客の利用があるためである。

4 その他

(1) 豊田市公共交通基本計画策定の進捗状況について

- 事務局 当市のネットワークやサービスレベル、運賃体系等の考え方についてまとめた計画で今年度と来年度で新基本計画を策定する。現在、現行計画の見直しをしており、今後随時、進捗状況を報告していく予定でいる。

(2) 次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成27年2月5日に開催を予定している。